

鳥獣被害対策アドベンチャー フィールドワーク開催報告

フィールドワーク開催7エリアのうち、
東北 関東 東海
北陸 近畿 中国四国 九州

日時 令和7年1月25日～26日(2日間)

場所 兵庫県
丹波篠山市

受入先 NPO法人里地里山問題研究所
<https://satomon.jp/>



受入先(NPO法人里地里山問題研究所)QRコード



参加者の声

- ・ 獣がい対策は人間と動物の共生のために必要不可欠で急務の問題、それを関係人口を巻き込み社会や地域の絆を深めることに繋がられる篠山の取り組みが非常に勉強になりました。
- ・ 獣害対策における自治体、地域の方々のご負担を実体験として得る事ができ、現在開発中のICT機器を開発する上での現場のお困りごとを理解する事ができました。また、さともん・自治体・農家の方々など、今後ヒアリングや実証実験を行なっていく上で必要な関係構築ができました。
- ・ 獣がい対策の方法も、目先の結果だけでなく、生態系を含めて行動すべきである事が、大きく気づかされたひと項目でありました。

フィールドワークスケジュール

DAY1 1/25(土)

ガイダンス 10:00～10:30
事前の注意事項などの説明を行った後、参加者同士の自己紹介を行いました。



座学研修 10:30～12:00
兵庫県の獣害と地域主体の獣害対策地域の人々の取り組み事例を学び、自分たちはどのような係りができるかについて学びました。その後は、丹波篠山市における被害対策を聴講し、獣害の被害状況、防除の取組(フェンスの設置状況)データや画像を中心に学びました。



体験フィールドワーク

13:00～15:30
受け入れ先に地域住民の方々も加わり、獣害柵の点検を行いました。



座学研修

15:30～17:00
多様な人材参画による獣がい対策と地域活性化の試みや、獣がい対策支援員の取組について学びました。



DAY2 1/26(日)

フィールド散策

9:00～12:00
住民の居住地域内でのサル対策の防除の取組や、ICTを活用した群れの位置情報の把握・探索方法などを見学しました。



全体振り返り

13:00～14:30
2日間の研修を通じて、獣害対策についてどのような印象をもったか、どのような学びが得られたかについて一人ずつ発表を行いました。

